

公益信託「コープこうべ環境基金」の活動報告（2016年度）

設立：1992年3月31日 趣旨：兵庫県内の自然環境保全のために活動している団体を支援する。

2016年度の助成先については、2015年2月18日のコープこうべ環境基金運営委員会で、30団体の応募の中から19団体に総額257万円の助成を決定、実施しました。

〈2016年度の助成団体と助成額〉

★印：2016年度はじめて女性が決まった団体です。

（単位：万円）

NO	助成団体	活動内容や助成金の使途	金額
1	田君川バイカモ保存会	田君川(新温泉町)に群生するバイカモ(梅花藻)の保全に向け、周辺の除草活動及び小学校の自然体験学習などを受入れ。 *除草資材、バイカモ祭備品の一部に活用。	5
2	宝塚エコネット	宝塚市にある松尾湿原の再生・保全のための間伐・草刈・落ち葉かき、植生・昆虫生息調査や親子保全活動体験の実施。 *講師謝金、パンフ印刷費等に活用。	8
3	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区…野路菊育成、低木植栽、雑木林・竹ヤブ整備、友が丘地区…竹林道保全、植栽用つつじを育苗。 *整備用具、土の購入、パンフ印刷代などに使用。	10
4	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	高砂海浜公園海辺の「アオサ」を回収し、堆肥化。市民参画と循環の学習の場として、干潟の生物調査、地引網漁体験などを行う。 *アオサ回収用具、講師料、漁業体験料等に活用。	15
5	須磨ふるさと生き物サポーター	神戸市須磨区旧市街地地域の在来生物保全と外来種駆除、須磨多聞線高架道路建設予定地に生息するマツムシ保全。 *標本製作、飼育・採集、森林整備用具に活用。	15
6	★いたやにすと	神戸市須磨区板宿で、人々が集う「街山」づくりに向けた除草等整備と植栽イベントの開催。 *草刈機本体・替刃、植樹用プレート資材、ポスター作成等に充当。	5
7	六甲山を活用する会	六甲山の里山再生モデル地域の啓発拠点「まちっ子の森」整備、アセビ伐採による森林再生状況を調査、検証を行う。 *調査関連用具、講師謝金、教材作成に活用。	25
8	身近な自然とまちを考える会	川西市黒川地区の休耕田に環境学習のための「トンボ池」を整備。市内小学校の里山体験学習支援を行う。 *観察回廊整備資材・案内板、観察・調査備品に使用。	17
9	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地であるハチ高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。 *シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。	25
10	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山づくりに向け、越冬幼虫の探索と分布のマップ化、生育環境の検証、及び学校の環境学習支援を行う。 *飼育ゲージ資材、標本作成等に使用。	10
11	あいな野草くらぶ	神戸市北区で、里山の再生により希少化する植物の保全、及び野草自生地の除草、採取種子の播種・移植を実施。 *肥料、整備用具、花の標識資材費等に活用。	10
12	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ保護のため、自生地のつたや障害樹木の伐採及び生育状況の定点観察、周辺植生調査を実施。 *遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に使用。	10
13	★自然と文化の森協会	兵庫県21世紀の森づくりに種子を提供する猪名川自然林の保全活動、図鑑・クラブづくり講座による身近な自然の啓発活動を行う。 *肥料、講師謝金等に使用。	10
14	丹波地域のホトケドジョウを守る会	ホトケドジョウ保全を目的にモニタリング調査、堆積土砂除去など生息地の環境整備、及び近隣の生息地を探索。 *検査試薬、生息地補修用品、図書購入に利用。	12
15	武庫川流域圏ネットワーク	安全・安心で魅力ある武庫川づくりをめざし、河川清掃活動&学習、外来植物駆除、流域で活動する他団体との交流会を行う。 *河川清掃用具、講師謝金、パンフ類印刷等に活用。	12
16	東お多福山草原保全・再生研究会	六甲山系のススキ草原の再生・維持管理のための地上植物刈取り、調査による効果検証、生物多様性ガイド養成講座の実施。 *整備用具消耗品・燃料等に利用。	10
17	NPO法人 たつの・赤トンボを増やそう会	童謡「赤とんぼ」に歌われるアキアカネの人工飼育、田んぼでの羽化実験、アキアカネ&水生生物調査会、アキアカネ山上調査を行う。 *講師謝金、材料費等に使用。	25
18	ブルーアンドグリーンネットワーク	神戸・明石海岸の海浜植物、貝類等の生息状況調査。海岸の生きもの観察会を通じ、自然環境や生物多様性を考える学習を展開。 *調査、マップ作成資材等に活用。	15
19	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	生息数が減少しているオオサンショウウオ保全に向け、朝来市で産卵環境・体確認調査、産卵卵巣穴での行動観察を行う。 *データロガー、監視カメラ等を購入。	10

2016年度は、「自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門」への助成は該当なしでした。

〈環境基金の推移〉

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	累計 (開始以降)
信託財産額(千円)	378,783	377,550	375,559	374,227	372,202		—
助成金額(千円)	2,900	2,850	2,800	3,000	2,680	2,570	71,620
助成件数(件)	16	20	20	24	21	19	5455